

社会の要請に応える体験活動事業

やんちゃキッズの大冒険 夏

1 ねらい

・様々な生活体験や自然体験を通して、意欲的に物事に取り組む姿勢や人間関係能力を育むとともに、自然体験の大好きな子供に育てる。

2 期日

令和7年9月14日(日)～9月15日(月) 【1泊2日】

3 対象

年長児

4 募集人数 / 応募人数 / 参加人数

20名 / 25名 / 20名(1名参加決定後にキャンセル)

5 講師・スタッフ

法人ボランティア6名

6 後援

富山県教育委員会、富山県厚生部子ども家庭室こども未来課、
富山県国公立幼稚園・こども園長会、富山県私立幼稚園・認定こども園協会、
富山県民間保育連盟、富山県保育士会、北日本新聞社

7 日程

日付	曜日	午前	午後	夜
9月14日	日	受付 はじめの会 レクリエーション 昼食	移動・荷物整理 班タイム(宝探し) 夕食づくり	入浴 たき火
15日	月	朝食 片付け 大丸山登山 昼食	おわりの会	

8 参加者からの事後アンケート

- ・帰ってきた時の顔付きがまず違って一回り成長したと思いました。楽しかったことも色々話してくれました。「あの時こうしたら良かったなあ」とも話してくれました。本当に大冒険だったようです。また行かせたいです。
- ・包丁をまだ持たせたことがなかったのですが、野外炊飯を体験してきて、帰宅した日の晩ごはん自分で何かを切りたいと言ったので、子供包丁を使い一緒にトマトを切りました。また、家で就寝時に掛け物を上手に広げて寝る準備をしていました。
- ・「自分のことは自分でやる」の精神を教えて頂きありがとうございました。帰宅後も色々「自分でやらなきゃ!」と取り組む姿が見られます。
- ・家では甘えん坊ですが、今回の体験を通して自分で成し遂げる喜びを感じる事ができたようで、積極的に取り組む気持ちの変化が見られたように感じました。

9 成果

- ・子供たちの挑戦の成果としてビー玉を配布し、それを嵌めこむペンダントを用意したことで、子供たちがペンダントを完成させようと事業の様々な課題に前向きに挑戦した。また、ペンダントを完成させることによって達成感につながった。
- ・活動中、子供たち同士の関わり合いが自発的に生まれ、大人に頼らず子供たち同士で声を掛け合う場面や、協力し合う場面が見られ、人間関係を築く力を養えた。
- ・野外炊事を行った経験を、家庭の食事の準備・片付けで活かしたり、寝袋の準備と片付けを行った経験を、家庭に帰っても寝具の準備や片付けで発揮したりする姿が保護者から寄せられ、子供の成長と自立を促すことができた。

10 今後の課題

- ・職員の減少と、ボランティアの応募が少なかったことから最低限の人数での実施となった。ボランティアの十分な確保が課題である。ボランティアの募集時期を早めるだけではなく、ボランティアの横のつながりを活用したボランティア募集を行っていく必要がある。
- ・二日目の起床後の進行が遅れたことで予定していた来拝山登山が大丸山登山に変更となった。事業で初めて集う集団が対象であるので、事業のねらいと円滑な進行バランス、集団の力を見極め、どこまで子供にやらせるのかを精査するとともに、プログラムのゆとりや変更パターンを熟慮しておく必要がある。

